

Senriyama

千里山建築会会報

第 25 号 2014 年 12 月 20 日発行

千里山建築会

〒 564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学環境都市工学部建築学科内

TEL : 06(6368)1121 (代表)

FAX : 06(6368)0093 (建築学科共通)

Contents

新会長挨拶	(北野幹夫)	1				
建築学科の近況	教室だより	(鈴木三四郎)	2			
	着任の御挨拶	(野村正晴)	2			
	退職にあたって	(末包伸吾)	3			
	OB の仕事 in 千里山 campus		3	事務局から	会計・事業報告	6
総会を終えて	第9回総会報告	(市原 淳)	4		お知らせ	6
退任にあたって		(宮本昌彦)	5		編集後記	6

新会長挨拶

北野幹夫 (10 期)



北野 幹夫 新会長

千里山建築会の皆様こんにちは。4月の第9回総会において、新会長に就任させていただきました10期卒の北野です。どうぞ宜しくお願い致します。

私は卒業後すぐ市役所に就職しましたが、今も大学とご縁があり、ボランティアですが非常勤講師として時々大学に通っております(建築法令等を教える建築都市行政という科目です)。そして今回、よく存じ上げる宮本前会長から、いま就職等に苦勞する学生や大学を身近に知る人が次期会長に適任と、上手く説得され会長のバトンを預らせて頂くことになりました。

さて、千里山会の目的は、「会員相互の親睦を図ると共に、建築に関する学術・技術の進歩発展に寄与すること」とあります。この親睦を図る中心に4年毎の総会がありますが、会員同士が総会で「また4年後にね」と挨拶を交わします。もう少し普段でも、会員同士が和気あいあいと会えるような機会が必要と感じます。また、学術・技術への寄与につ

いては、卒業生が様々な立場・専門を活かして建築に関する意見交換ができる場、きっかけづくりが重要ではないかと考えます。そこで、今後の企画などを述べさせていただきます。

1つ目は、年度始めのスプリングフェスティバル時に開催する懇親会(これは今まで通りです)。2つ目は、学生むけに就職に役立つOBによる講座。3つ目は、まちを楽しむまち歩きイベント(今年秋は、まず四天王寺・夕陽丘7坂巡りをしました)。4つ目は、関大先生や卒業生講師による講演会(ここでしか聞けない裏話を)。5つ目は、より懇親を深める会(要するに飲み会)。6つ目は、年度末に学生を褒める会(優秀学生表彰)。

こうした企画を今後、5人の副会長と私の6人が中心になって、幹事さんや先生がたの力をかり、肉付けし、千里山建築会のホームページに掲載すると同時に、アドレスを教えたいいただいた会員に適宜送らせていただこうと思います。

現在、皆様の母校の建築学科は満48歳となり、2年後に節目である50歳を迎えます。そこで、記念になる事業を何かをできればと考えており、今後、多くのご意見やご支援を頂ければと存じます。最後に、本会活動がさらに活発なものになりますよう、会員皆様におかれましては、卒業同期や研究ゼミの人の繋がり(これは財産です。)を普段から密にして会員間のネットワークを広げていただきますとともに、本会企画への参画やご参加など様々な形でご協力をお願いする次第です。

建築学科の近況

教室だより 建築学科 教育主任 鈴木三四郎 (2期)

平成 26 年度、教育主任を仰せつかっております。唐突ですが、最近景気が回復気味であることは事実です。その証拠に、学生の就職率が上がっていることからの判断です。しかし、現実にはとても厳しい状況が取り巻いています。例えば、平成 7 年 (1995) の阪神淡路大震災の記憶も消えないまま、平成 23 年 (2011) には東日本大震災が起こり、震災復興もまだまだという感があります。更に近年、いわゆるゲリラ豪雨が世界的に発生しており、日本にも大災害を齎しています。自然に立ち向かうべき人類の抵抗、例えば建築もその一つでしょうし、建物は生活のためにはなくてはならないものです。おそらく、今後もどのように自然と共存するかが課題の一つでしょう。

このような中、当建築学科は創立 50 周年を平成 29 年 (2017) に迎えることになり、半世紀を前に卒業生は平成 26 年 3 月で 5,000 人を超えることになりました (正確には 5,269 名)。この間、工学部が 3 学部へ再編され、現在環境都市工学部の中に建築学科は属しており、カリキュラムも随分変更されてきました。関連建物に関しても、かつての建築学科実験場を含め全ての実験場は建て替えられ、新たな第 6 実験棟の中の一部に当学科の実験場が配置されています。かつての通称工学部新研究棟は第 4 学舎 (理工系学部) 2 号館に改名され、老朽化も否定できない中、今年度耐震補強が施されています。更に、隣接のテニスコートの後に同 3 号館 (4F 建) が新築され、この屋上にテニ

スコートが配置され、小さな雨天練習場も併設されています。新しい建物が建設される毎に、全体の面積が増加することから学科の専有面積が増え、そのことが個室・研究室の配置のタコ足状態になっていると言っても過言ではありません。

学科の人事に関しては、この 4 年間に限定しますと、八尾眞太郎先生と馬場昌子先生が退職され、新たに豊田政弘先生と野村正晴先生が、それぞれ環境系と計画系の新任教員として着任されました。平成 26 年 4 月から、伊藤淳志先生と榊井健先生が教授に、豊田先生が准教授に昇進されました。一方、末包先生が平成 26 年 10 月より、古巣の神戸大学に転職されることになり、このことは学科にとって非常に惜しい人材を失うことになり、建物に置き換えるならば 1 本の柱がなくなる思いです。僅か 5 か年半の在職・勤務されたことになりましたが、年度途中での転職ということもあって、今年度の残存期間に限り非常勤として、引き続き学生の指導して頂くことになりました。

河井先生は、学部長を 10 月から 2 期目を続投されることになり、学部運営はもとより、研究・教育、更に同窓会の一員として、活躍されています。このことは、千里山建築会が益々発展し、社会貢献に発揮できる人材の排出に繋がるものと信じております。

着任の御挨拶 野村正晴

少し遅くなってしまいましたが 2013 年 4 月に関西大学に着任いたしました野村正晴です。着任し、約 1 年半がたったところです。出身校、前職ともに芸術系大学であり、規模のそう大きくない大学から参りましたので、着任当初は関西大学の規模の大きさや、それ故の教育や校務のそれぞれのやり方の違いに戸惑ったり、大変に緊張したりの毎日でした。最近になってやっと先生方や事務の方々の親身なご指導と学生たちとの交流のおかげで徐々に慣れ、なんとか馴染めてきたかと思っております。自身の研究の専門は、近代日本の都市と建築につ



野村 正晴 助教

いて研究をしておりますが、その傍ら、大好きな設計も今は住宅を中心に少しやらせていただいております。歴史研究も設計もそれぞれ一筋縄ではいかない難しさと奥深さがあるなど実感しているところではありますが、現在は片足をそれぞれに突っ込んで奮闘させていただいております。教育でも自身の研究と同様に、建築史と設計との両方の教育に携わらせていただいております。大変な幸せを感じております。30 代半ばのまだまだ若輩の身ではありますが、今後も関西大学での研究教育両面において精一杯貢献していく所存ですので、諸先輩方、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

退職にあたって 末包伸吾

この度、9月末日をもって関西大学環境都市工学部建築学科を退職し、10月1日から母校である神戸大学大学院工学研究科建築学専攻教授に着任することとなりました。

関西大学建築学科にお世話になりましたのは5年半という短い期間でしたが、大変密度の濃い時間を過ごさせていただくことができました。

教育面では、学部3年生の「建築計画3」で建築意匠論、大学院の「建築設計特論」の講義を、そして学部3年生の「建築設計製図4」、「建築設計製図5」、そして大学院の「建築製図」の演習等を担当させていただきました。

特に、江川教授、非常勤講師の森下先生とご一緒させていただいた、大学院の「設計製図」では、着任以降に、日本建築学会の設計競技を設計課題とし、まずは近畿支部での支部入選を期していましたが、学生諸君の奮闘により、全国大会での最優秀作品への選出をはじめ、毎年のように、支部入選を超え、全国入選を果たしてきてくれるようになり、他大学からも、「関西大学の強さ」をたびたび耳にするようになったことは、担当の一員として望外の喜びでありました。

また、関西大学重点領域研究に採択された、発展を続けるインドネシアのガジャマダ大学との2年間に渡る、国際ワークショップにも参加させていただきました。互いに各々の地域の実情にあった設計課題を設定いたしました。ガジャマダ大側は、大幅な人口増への対処を課題にし、一方、関西大学は、人口減を見込んだストック型の団地再生を課題にし、我彼の置かれた立場の大きな違いを、学生諸君とともに体感してまいりました。



末包 伸吾 教授

研究面では、それまで空間形態やその構成を中心としたものから、建築家の思想や空間表象に関する建築意匠的検討へと、より本質的な検討へと歩を進めることができたのは、私個人にとっては、大きな一歩でした。また、私の関心に共鳴してくれたゼミ生諸君との共同研究も、私自身がトライ・アンド・エラーの最中にあったにもかかわらず、学生諸君の奮闘で充実した楽しい議論を重ねることが出来ました。

運営に関しては、教育主任や執行部（教学主任）等を拝命し、体力的にも精神的にもきつい時期もありましたが、学科そして学部の方のお力添えで、曲がりなりにも務めさせていただき、大学・学部・学科運営の一端を学ばせていただくことが出来ました。特に学部の建築設計製図のカリキュラムと課題内容の再検討については、小生から発声し、関係する先生方に多大なるご無理をお願いしご協力を得、具体的な運用が始まり、今年で3年目に入ります。本来であれば、その完成と成果およびその評価を行い、更なるカリキュラムの改善へと進むべきところ、それが叶わないのが悔やまれます。

5年半という短い在籍、前方の意向とはいえ、急な人事決定と10月からの着任ということとあいなり、学部の方々はもとより、なにより建築学科の先生方や学生諸君には、多大なご迷惑をお掛けすることになりましたことを、心よりお詫び申し上げます。

5年半ではありましたが、濃密で充実した時間を過ごさせていただいたのも、ひとえに、建築学科の先生方、ひいてはこれまで建築学科を支えていただいた諸先輩方が築かれてきた伝統と環境のおかげと感謝しております。

本当にお世話になりました。そしてありがとうございました。

関西大学建築学科および関係される皆様の益々のご発展を期しております。

建築学科 OB の仕事 in 千里山キャンパス

2014年9月、千里山キャンパスに新しい実験棟が完成しました。建築学科卒業生が設計にも施工にも関わっています。

第4学舎第2実験棟

設計：(株)佐藤総合計画（設計：井下仁史 19期、牧圭亮 27期）

施工：(株)竹中工務店（施工管理：南大造 25期）



恒例となりました、本学・建築学科の同窓会である、千里山建築会の総会は、第9回を迎えました。

平成26年4月29日(火)13時、関西大学100周年記念会館にて開催されました。今回の司会は第22期の西田佳代さん。総会開催のアナウンスが西田佳代さんからされまして、副会長第7期の西田眞章氏より総会成立宣言、議長選出の運びとなりました。議長には第14期の安藤幸一氏が指名されました。安藤議長の頼もしい議事進行により、第13期宮本昌彦会長の挨拶、第20期井上寿也副会長から事業報告、第18期橋寺知子氏からの会計報告と続きます。会計監査を監査役の第5期白崎清一氏、第9期芳村隆史氏、第10期北野幹夫氏のお3方を代表して北野氏より監査報告がなされ、これらの議事については満場一致で承認されました。

今回は会則変更がございました。変更提案は以下の通りです。

千里山建築会会則第3章役員の第6条、「本会には、次の役員を置く」

- 1、会長1名
- 2、副会長3名
- 3、幹事若干名

4、監査役3名

と定められておりますが、この第2項の副会長3名を「副会長3名以上」としたいとの提案でした。

幹事会ではこれまで様々な活動をして参りましたが、会員も5,000名を超えましたので、副会長の定数の自由度を増やし、さらなる活発な活動を展開する主旨でございます。この議案につきましても満場一致で承認されました。

続いて役員改選があり、下表のように役員が選出・承認され、個々の紹介がありました。最後に新会長の第10期北野幹夫氏から、新役員を代表しての挨拶(所信表明)があり、事業計画が発表されました。

出席者の会員の協力もあり、総会の案件は全て承認され、総会は滞りなく終了しました。総会参加人数は96名(旧教員4名、教員8名(卒業生4名含む)、卒業生87名(教員4名含む)、同伴1名)、でした。次期総会では、ますますの参加者を募り、千里山建築会の発展を祈念いたします。

千里山建築会新役員一覧表

会長	北野 幹夫 (10期)
副会長	高岸 博之 (8期)、明石 友宏 (10期)、渥美 充宏 (12期)、西田 佳弘 (13期)、井上 寿也 (20期)
監査役	白崎 晴一 (5期)、芳村 隆史 (9期)、市原 淳 (22期)



この度の総会をもちまして、役を終えさせていただきました宮本です。在任中は皆様のお力添えをもちまして、青息吐息で役割を果たした状況でした。お世話になりました皆様、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。任期中、東北大震災、不況の只中と暗い話題が多く、取り立てて言える業績は上げておりませんが、現在も継続しております3年生・M1向け就職活動準備のための講座に力を入れました。SNSを利用して学生のグループを作ってもらい、要求を聞き、講座を準備する形式です。今年度もLINEを利用してM1のグループを作ってもらい、学生とOBの双方と打ち合わせを重ね、9月7日・11月9日の両日、研究棟6階会議室で講座を開催しました。



宮本 昌彦 前会長

第1回目の9月7日（日）は、まず【建築業の全体像と就職の方向性】の題目で基調講演を近宮健一さん（日本設計執行役員大阪支社長・1985年院卒・荒木研）にお願いしました。続けて、【大手組織事務所】の題目で近宮さんが、ご自身の経歴を踏まえた仕事の内容と、社内のOBの活躍状況を、画像資料をもとに語っていただきました。学生たちにとって見知った建築が次々と紹介され、興味深く聞けたようです。続けて、【ゼネコン】の題目で岩井正和さん（竹中工務店設計部課長・1983年卒・荒木研）安藤幸一さん（工務部部長・1984年卒・山田研）畑中哲夫さん（企画管理情報グループ長・1987年院卒・荒木研）のお三方のコーディネートによりまして、中村圭祐さん（設計部・1999年院卒・川道研）に設計部での仕事について、本店作業所から谷本さん（2010年卒・江川研）に作業所での仕事について、それぞれご自身の経歴を踏まえた仕事の内容を画像資料をもとに語っていただきました。中村さんのお仕事は、経験の積み上がりとともに、担当する物件が大プロジェクトになっていき、キャリアの積み上がりが学生にとってわかりやすかったようです。また、学生諸君とさほど年の変わらない谷本さんのお話は、年齢の近い先輩のリアルな話として聞けた様子でした。最後に、車座になって、質問に答える形で、【学生時代の過ごし方と将来への野心の持ち方】の題目で語り合いましたが、設計業務だけでなく、まちづくり・再開発のようなコンサルティング業務を含む仕事に興味が集まっていました。また、現場に興味のある学生も何人かおり、プログラムに問題はなかったと確認できました。

第2回目は前回のディスカッションで希望のあった【ハウス

メーカー】【コンサル・研究所】についての勉強会を持ちました。

【ハウスメーカー】に関して、桐川悦治さん（積水ハウス大阪特建支店事業開発部課長・83年卒・川道研）にハウスメーカーの概要とご自身の経歴と照らしながら団地計画の住棟計画の視点と戸建て住宅の企画営業の視点でお話いただきました。野心あふれる活動に学生たちも感銘を受けた様子でした。つぎに平田茂良さん（大和ハウス工業総合技術研究所副所長・85年院卒・八尾研）コーディネートで、菅将憲さん（同研究所建築技術研究室建築構造研究グループ・97年院卒・八尾研）に、ハウスメーカーの概要と、企業内の研究所での仕事についてお話しいただきました。ご自身の構造の研究が独自の資材開発につながったお話や、工業化学と建築のダブルスクールの経験をふまえたお話は、驚きをもって学生に受け止められた様子でした。つづいて【コンサル・研究所】に関して、井上寿也さん（日本建築総合試験所試験研究センター構造部耐震耐久性調査室室長・92年院卒・浅野研・本会副会長）から総合試験所の概要と、構造・材料に関する研究者・技術者としてのキャリアについてお話ししていただきました。学生たちは仕事内容とともに、仕事に臨む心構えについてのお話が興味深かった様子です。つづいて、西田佳弘さん（関西情報センター新事業開発グループ次長・85年院卒・堀内研・本会副会長）から、調査研究機関・シンクタンク・建設系コンサルタント全般の概要とご自身の街づくりに関する研究者としてのキャリアについてお話ししていただきました。学生たちは就職希望する場合のアプローチ方法と、具体的に挙げていただいた企業名に今後の目標を持たされた様子でした。最後に学生の意見を順に聞き、今後の活動に向けての意欲が満ちたところで閉会としました。

次回以後は、【公務員】【研究者】設計部受験に向けた【即日設計課題】というリクエストを受けております。ご関係の皆様、お声掛けさせていただきました折は、ご協力のほど、よろしく願いたします。



会計報告

平成 24 年度

収入の部		支出の部	
繰越金	¥1,715,527	SF	¥18,340
SF 会費	¥9,000	23 年度卒業写真	¥76,000
新規会員入会費	¥51,000	24 年度卒業写真	¥59,200
利息	¥449	封筒印刷代	¥23,100
		通信費	¥71,440
		会議費	¥5,880
		アルバイト代	¥24,000
		計	¥277,960
		繰越金	¥1,498,016
合計	¥1,775,976	合計	¥1,775,976

平成 25 年度

収入の部		支出の部	
繰越金	¥1,498,016	SF	¥19,709
SF 会費	¥21,000	封筒印刷代	¥79,800
新規会員入会費	¥88,000	通信費	¥4,080
利息	¥14	計	¥103,589
		繰越金	¥1,503,441
合計	¥1,607,030	合計	¥1,607,030

平成 25 年度 繰越金明細

郵便普通預金	¥1,398,828
りそな普通預金	¥11,448
現金	¥93,165
合計	¥1,503,441

※ SF：スプリングフェスティバル

事業報告

平成 24 年度

4月8日	第1回幹事会開催
4月8日	スプリングフェスティバル・懇親会開催
7月1日	会報第24号の発行
11月24日	第2回幹事会開催
12月22日	OBによる学生向け採用試験準備プログラム開催
1月15日	第3回幹事会開催
2月16日	第4回幹事会開催
3月19日	卒業式にて新会員勧誘、卒業写真撮影
3月25日	会報第24号発行、会費納入者に発送

なお、会報、名簿の各担当者は随時各委員会を開催

平成 25 年度

4月7日	第1回幹事会開催
4月7日	スプリングフェスティバル・懇親会開催
7月13日	第2回幹事会開催
1月11日	第3回幹事会開催
3月20日	卒業式にて新会員勧誘、卒業写真撮影
3月26日	第4回幹事会開催

なお、会報、名簿、総会の各担当者は随時各委員会を開催

* 《お知らせ》 *

- 1、千里山建築会の新たなホームページを準備中です。そこには、本会の活動内容や、イベントとして卒業生が関わった建築の裏話を聞く会、建築やまちの魅力を楽しむまち歩きの開催など企画情報を様々に発信いたします。
現行サイト：<http://www.arch.kansai-u.ac.jp/senri2003/index.htm>（内容は今後更新します）
住所変更等の連絡は、上記からお願いします。
- 2、今年度から公益社団法人大阪府建築士会にお願いし、3月卒業式の場において士会会長より優秀学生に賞状を直接渡しただく（これからの建築界を担う若い人材に活躍の期待をこめてエールを送る）予定です。
- 3、**来年春のスプリングフェスティバル**に合わせ、**2015年4月5日（日）14時から**、建築学科第1会議室（第4学舎2号館研究棟6階）にて恒例の**懇親会と大学施設の見学会**を開催します。飲み物、スナックなどを用意しております（参加費は千円の予定、子供は無料）。ご家族、ご友人と花見がてらお気軽にお立ち寄りください。

※予約は必要ありませんので、会場（研究棟6階・建築学科第1会議室）に直接お越し下さい。

* 《編集後記》 *

《編集後記》

2014年の漢字が「税」と発表され、衆議院選挙も終わり、会報の編集も何とか終わりました。ご執筆いただきました皆さま、ありがとうございました。関西大学の平成26年は、建設関係では、天六キャンパス売却という大英断、第4学舎第2実験棟建替の竣工、第3学舎耐震改修での天井崩落事故等がありました。スポーツ関係でも、硬式野球部の42年ぶりの明治神宮大会への出場や、高橋大輔君の引退表明等、話題に事欠かない一年であったと思います。平成28年には関西大学は創立130周年を迎えますが、同時に建築学科も50周年を迎えるとの事。来年は準備に忙しくなりそう……。ではみなさまよいお年を！（市原）